

目標達成計画

作成日：平成 27年 3月 8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 (5)	玄関の施錠による閉塞感は、認知症の行動心理症状に影響を及ぼすとして、運営基準の身体拘束行為と解釈されている。安全との兼ね合いを検討の上、短時間からの開錠の試行も、今後課題とされたい。	短時間から玄関の開錠を行う。	①散歩の行く時間帯など、職員が玄関扉の出入りを30分程度、扉を開錠する。 ②鍵の施錠忘れや、ご利用者が一人で無断外出することのないようにリスク管理の把握 ③短時間開錠が定着付く。	12ヶ月
2	33 (12)	医療・看護・介護の連携体制の充実と、スタッフのターミナルケアの取組みへの研修と意思の統一をはかり、家族の納得と同意及び協力も得ながら、グループホームとしての新たなステップアップを期待したい。	訪問看護ステーションと契約し、医療面での充実を図り、職員と訪問看護師、主治医とが連携できるようになり、重度の方にも対応できるホームとなる。	①連携の強化を図り、連絡事項がいきわたるように書類を工夫する。 ②訪問看護師による研修と、外部への重度、看取りに関する研修への参加。	12ヶ月
3	52 (19)	見守りや移動の同線も機能的であるが、できれば気の合う利用者同士で過ごせたり、家族と職員の面談や申し送りなどで個人情報やプライバシーが保てる、周囲の目線を少しずらしたスペースの確保の検討も望ましい。	共用空間において、プライバシーの保てる環境づくりを実現する。	①話仕合いと勉強会を行う 共用空間での個別スペースやプライバシー確保の理解 ②現状にあるもので、期間を決めて実施し、欠点を把握。 ③必要なものを購入する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。